



水芭蕉満開に。

五泉市立川東中学校学校だより
令和4年7月11日発行 第4号
毎月1回発行（文責 校長）

その花言葉「美しい思い出」の如く充実した学校生活を願って、「水芭蕉満開に」としました。

部活動で、何を学んだか。

私は自分の経験から、500時間費やすことが知識や技能の習得の1つのめどとなると実感しています。中学校3年間で部活動に500時間を費やした人はたくさんいるのではないのでしょうか。



先日、下越地区中学校体育大会が終了し、3年生は、部活動を引退しました。500時間を通して、どんなことを学んだのでしょうか。

各部長が具体的に学んだということを1つずつ教えてもらいました。その抜粋を紹介します。

一番の学びは…、

礼儀

特に、先輩への接し方を自分はしっかりとするようになった。今後生きていく上で大切なことだと思う。



(バスケット部部長)

一番の学びは…、

チームワークの大切さ

バレーボールは1人ではできないスポーツです。誰かが拾ったボールを次の人が拾う。チームワークがないと次には続かない。



(バレー部部長)

一番の学びは…、

教えることの難しさ

教えるのは自分でやるのは違う。伝えるには言葉にする必要だが、難しい。その分、教えてくれた人に感謝している。



(卓球部部長)

「ここまでできたのは、家族や先生、地域の方々、関係者の方々の支えがあったから。」という『感謝』の思いは3人に共通したものでした。大切にしてもらいたいと思います。

学んだことは三者三様でしたが、それで良いのだと思います。いずれにせよ、大きな収穫のあった部活動であったことを誇りに思います。

大会前後に贈った校長のメッセージを紹介します。

応援されるチームになろう。

－6.6激励会校長講話より－

「知らない人を味方にするチームがある。気がつく知らない人が応援してもらえるチームがある。家族や同級生、部員、先生方、対戦相手からも勝ってほしいと本気で願ってもらえるチームになってほしい。

応援してもらえるチームになるために、今からでもできることはありませんか。」

学んだことを明確にしよう。

－6.27報告会校長講話より－

「部活動でたくさんのことを学びました」という人がいます。具体的には何を学んだのか、是非一度、じっくりと考えてほしいと思います。正解はありません。500時間を通して何を学んだのか1つでいいから挙げてほしい。

あなたは、部活動で何を学びましたか。」

20時間で習得できる。

－夏休み、何に時間を費やすか、それが問題だ－

夏休みを目前に控えた7月の全校朝会で生徒に次のような話をしました。

まもなく待ちに待った夏休みが始まります。夏休みは前後の土日を含めると31日です。今年の入学式で、中学校で500時間費やす何かを見つけようというお話をしました。その中で触れたように、ジョシュ・カウフマンという人は「大抵のことは20時間で習得できる」と説いています。

「ぼくらはまず20時間、意識を集中し、知的に、明確な目的を持って努力するところから始めよう。自分にとって価値のある結果をわずかな努力で手に入れるのだ」とも言っています。20時間であれば、1日40分を毎日続ければ達成できます。できなかったことができるようになるのです。できていたことがより上手になるのです。

さて、あなたは何に20時間を費やしますか。

参考図書「たいていのことは20時間で習得できる」ジョシュ・カウフマン著（日経BP社）

いじめ見逃しゼロ集会に高橋なんぐさん登場

去る6月30日生徒会主催「いじめ見逃しゼロ集会」を開催しました。今年はお笑い集団NAMARA所属芸人、高橋なんぐさん(長岡市出身)に講演をしていただきました。評判通り、「笑いの中にも伝えてほしいが入っている」ものでした。趣旨を一言でまとめると「自分1人と思わない。みんな同じと思わない」ではなかったかと思えます。

お笑いを地方にこだわって取り組む姿勢は、キャリア教育の視点から学ぶことが多かったように思います。

川東中学校では、今後もいじめ見逃しゼロの取組を推進します。



※ 6月23日に高野教諭が研究授業を行いました。次号で概要をお知らせします。